

文語日誌(平成二十五年三月九日)

**LE NOZZE DI FIGARO**(フィガロの結婚)(九〇年十二月、九一年一月)

モーツァルト作曲。仕事の關係にて遅れて到着したれば、後半の三、四幕のみ見ることを得。伯爵夫人役は待望の名歌手ルチア・ポップなり。第三幕のアリア「樂しき思ひ出は何處へ」、緊張度高く硬質の稀有なる美聲なれば感激す。(二重(ダブル)配役(キヤスト)の米國人、ルネ・フレミングも健闘したれど、ポップには及ばず。)フェルツォ・フルラネットは當代隨一のフィガロと言ふべく、ウィーンにて見しとき(八五年)に比して、役柄を一層自家薬籠中のものとなせり。今人氣絶頂のイタリア人メゾ、チェチーリア・バルトリのケルビーノ、必ずしも舞臺映えはせず。字幕は當初は上が英語、下が佛蘭西語なりしかど、當局よりの指摘ありたる故にやあらむ、その後の上演にては上下逆と相成れり。

**UNRE IN ASSOLTO**(聞き耳を立てる王)(九一年二月)

ルチアーノ・ベリオ作曲。主役はニュージールランド出身のバリトン、ドナルド・マッキンタイア一なり。元氣失せ最後は死ぬる役柄なるが、アイヌ乃至日本民謡にも通ずる歌唱法かとも覺ゆ。

**LA DAME DE PIQUE**(スペードの女王)(九一年三月)

チャイコフスキー作曲。スカラ座との共同制作。主役のデンマーク人ソプラノ、ニーナ・キーベリ、第三幕のアリアも盛り上がることなく冗長に終始す。第二幕にモーツァルトのパロディ的箇所ありて、韓國人ソプラノ、パク好演す。

**CONCERT JONES**(ジョーンズ)(九一年三月)

英國出身の大歌手ギネス・ジョーンズ、ワーグナーの「イゾルデの愛の死」及びシントラウスの「四つの最後の歌」を歌ふとありて期待したれど、聲の調子悪しく、小さくのみ聞ゆ。前席の客兩手を耳に付け、聲を聴かんと欲して首を傾げたる有様、哀れなり。

**MANON LESCAUT**(マノン・レスコー)(九一年四月)

プッチーニ作曲。巨匠ネロ・サンティの指揮によりて管弦樂大いに活氣づく。第一幕の舞臺はヴェネチアの道化の世界にて、その色彩の美しさにヨーロッパならではと感嘆せしめらる。三面の鏡の斜めになりたる凝りたる造り、金の馬車の出で來るなど夢ある舞臺なりき。第二幕の額縁の中にて化粧するマノンの姿、美し。主役のカナダ人ソプラノ、ダイアナ・ソヴィエロ、聲量十二分にしてヴェリスモを得意とするも宜なり。

**CONCERT BARTOLI**(バルトリ)(九一年四月)

一九六六年生まれの伊太利のメゾ、バルトリによる歴巻のコンサート。超絶技巧を要するロッシーニの難曲オペラアリアを驚異のベルカント唱法にて軽々と歌ふ。アンコールは「セヴィリアの理髪師」より「今の歌聲は」。

**SAMSON ET DALILA**(サムソンとデリラ)(九一年六月)

サンサーンス作曲。舞臺に本物の馬や裸の人々現るる奇抜なる演出。巴里らしくファッション・ヨンショーの場面も盛り込まれたるは興味深し。デリラ役のエヴァ・ポドレスには批判の聲の「ブー」飛びたり。

**RECITAL BURCHULADZE**(ブルシユラーゼ)(九一年六月)

グルジア出身のバス、パータ・ブルシユラーゼのリサイタル。前半はラフマニノフの歌曲、後半は露西亞もののオペラアリアにて、大きなホールに相應しき豊かなる聲量なり。

**KATIA KABANOVA**(カーチャ・カバノヴァ)(九一年七月)

ヤナーチェク作曲。ゲッツ・フリードリッヒの演出にて、主役は彼の夫人カラン・アームストロングなり。カバチーナ役には往年の名歌手レオニー・リザネク。

シーズン九一・九二年

**LE NOZZE DI FIGARO**(フィガロの結婚)(九一年九月、九二年六月)

「フィガロの結婚」の再演。スザンナ役の MARIA・バーヨ(スペイン人)、日本人並みの小柄なれども、美しく透る聲にて人氣を攫ふ。伯爵夫人フランソワーズ・ポレ、體格よけれど聲無し。

**IDOMENEO**(イドメネオ)(九一年九月)

モーツァルト作曲。嵐の場面の雷鳴、特に迫力あり。エレットラ役、デンマーク出身のインガ・ニールセン、好演す。タイトルロールのトマス・モーザー、役柄によく適合せり。

**L'ANGE DE FEU**(火の天使)(九一年十一月)

プロコフィエフ作曲。露西亞的といふより亞米利加的なる音のする作品にて、レナータ役のマリリン・チャウ、熱演す。

**DIE ZAUBERFLÖTE**(魔笛)(九一年一二月)

モーツァルト作曲。日本經濟新聞社後援。演奏の水準高からざるに、切符の入手容易ならず。臺詞の音量、アリアより大きく聞こゆるは、擴聲器を使ひし爲なり。水の垂るる音、モーツァルトの音楽の流れを絶つ問題を生ず。人の動き、歌舞伎の如くに様式化せられ、歌手にとりての負擔多し。最も人氣の集まれるは、テルツ少年合唱團なりき。